

審議会等の会議の記録

会議の名称	令和5年度第1回市史編さん委員会
開催日時	令和5年7月24日(月)午後2時00分～4時00分
開催場所	伊勢崎市図書館2階集会室
出席者氏名	(委員) 三好委員長、小林副委員長、相川委員、青木委員、桜井委員、宮崎委員、前澤委員、里見委員、清水委員、栗田委員、村岡委員、櫻井委員 (オブザーバー) 新井文化財保護課長、出浦文化財保護係長、横澤埋蔵文化財係長 (事務局) 二上教育副部長、和佐田図書館課長、町田奉仕係長、勢藤市史編さん係長、和久市史編さん係長
傍聴人数	0人(公開)
会議の議題	(1) 副委員長の選出について (2) 専門委員会での協議内容について (3) 基本計画案について
会議資料の内容	(1) 専門委員会での協議内容について (2) 基本計画案
会議における議事の経過及び発言の要旨	<p>【編さん委員会】</p> <p>1 開会</p> <p>2 副委員長の選出について 副委員長に小林教育部長が指名され、承認された。</p> <p>3. 報告事項 専門委員会での協議内容について ・第1回から第3回の委員会内容と決定事項について説明した。 ●委員からの質問、意見等は出なかった。</p> <p>4. 協議事項 伊勢崎市史編さん基本計画案について ・伊勢崎市史編さんの基本計画案について説明し、委員からの意見を求めた。 〈質疑応答〉 委員：①基本方針と刊行計画はどのようにリンクしているのか。 ②事業期間が12年間、20冊刊行予定であるが大丈夫なのか。 ③地元の郷土史家などの協力員の採用はするのか。 事務局：①『災害史』は特別編として刊行予定である。「多文化共生」については刊行の検討が必要であるが、全ての部会の共通認識として調査を進めることは申し合わせている。 ②刊行計画は専門委員会での意見の出たものを載せている。当面は令和17年の新市誕生30周年での完成を目指しているが、状況を見て計画を見直す可能性がある。</p>

③市民との連携はいちばん大事にしているところである。基本計画の概念図のとおり、多くの市民の方に参加してもらえるように進めていきたい。

委員：①市史の刊行計画については柔軟性を持ったものにした方がいいのではないかな。

②「読んでもらえる市史」を目指すために、一番読んでもらいたい高校生や大学生などの若い世代から内容や表記の仕方など市史に対する意見を聞く機会があれば、若い方に読んでもらう市史が叶うのではないかな。また、市長に対して意見を聞く場があるといいのではないかな。

事務局：①刊行の目途として計画は作るが、何かあった時には代替えできるものを用意して刊行の順番を変更するなど、柔軟に対応できるよう進行状況の管理はしていきたい。

②県内の大学には歴史系の学部はないが、四ツ葉学園には郷土史を学ぶ研究会で活動する学生がいると聞いている。他にも歴史に興味を持つ学生はいると思うので、そういった若い人にも参加してもらい次世代の人材育成の場として事業を進めたい。また図書館は学生が多く利用している場所でもあるので、そういうところをうまく活用していきたい。

委員：前回の市史で収集した写真や地図等資料の保管はどうなっているのかな。

事務局：原則として民間の方が持っているものは返却し、市所蔵のものや寄贈を受けたものは図書館で所蔵することになっていた。所在資料目録の市立図書館Ⅰ・Ⅱがそれにあたり、掲載されている資料については現在も図書館資料として保管している。

●市史編さん事業について、詳細な基本計画は今後の専門委員会で協議をし、その結果を編さん委員会に諮り決定することになる。大まかな内容や方針については承認された。

5. その他

令和5年度第1回定例会（3月議会）で一般質問があったことを報告した。

6. 閉会